

事業 優先順位		4	細事業：学校運営事業(中)					整理 番号		96	
目的		・学校事務事業を円滑に実施するため。 ・新学習指導要領等への対応を行うため。									
目標		市立中学校運営における消耗品・備品の整備等を実施し、本市教育の更なる充実を図る。									
事業 実施主体		直営	事業開始 年 度	昭和47年度以前	根拠 法令						
事業費・財源				平成24年度	比 較	コスト情報・従事職員数			平成24年度	比 較	
	事業費（決算額）（千円）			23,222			総コスト（千円）			23,381	
	財源内訳	一般財源		23,222			内訳	事業費		23,222	
		国府支出金		0				人件費		159	
		地方債		0				公債費		0	
		その他特定財源		0				一人あたり（円）		207	
				0				世帯あたり（円）		496	
				0			参考	職員数（人）		0.02	
			0		再任用職員数（人）				0.00		
	今後の方向性		平成24年度に全中学校の学校運営状況等について個別にヒアリングを実施し、この結果に基づき、平成25年度より各校に対する学校予算について、より適正となるように調整を行う。								
評価	妥当性	効率性	有効性	対象者	市立中学校7校						
	A	B	B								

事業 優先順位		5	細事業:学校運営管理事業(中)					整理 番号	97		
目 的		市立中学校の学校運営を円滑に実施するため。									
目 標		市立中学校の運営にかかる光熱水費、通信運搬費の支払い手続き等を実施する。									
事業 実施主体		直 営	事業開始 年 度	昭和47年度以前	根拠 法令						
事業費・財源				平成24年度	比 較	コスト情報・従事職員数				平成24年度	比 較
	事業費 (決算額) (千円)			55,493			総コスト (千円)			56,287	
	財源内訳	一般財源		55,451			内 訳	事業費		55,493	
		国府支出金		0				人件費		794	
		地方債		0				公債費		0	
		電話使用料		42				一人あたり (円)		499	
				0				世帯あたり (円)		1,194	
				0			参 考	職員数 (人)		0.10	
				0				再任用職員数 (人)		0.00	
	今後の方向性		引き続き、各中学校の光熱水費等の支払いや機器の検査手続き等を実施する。								
評 価	妥当性	効率性	有効性	対象者	市立中学校7校						
	A	A	B								

細事業：学校運営事業（中）

主な事業実施内容

1. 学校予算

日々の学校運営に直接必要な消耗品費、燃料費、印刷製本費、備品購入費等について、各校の予算を執行した。

市立中学校予算執行額 21,937,330円



細事業：学校運営管理事業（中）

主な事業実施内容

1. 備品の整備

各学校で統一して整備されるべき備品のうち、高額な備品の整備を行った。

生徒用机・椅子、教職員用机・椅子、教科用大型備品等整備額 4,369,121円

2. 光熱水費の支払い

日々の学校運営で必要となる電気、ガス、水道使用料等の光熱水費の支払を行った。

光熱水費 43,259,952円

